

2025年3月14日

株式会社三菱 UFJ 銀行
株式会社ジャックス

株式会社三菱 UFJ 銀行と株式会社ジャックスによる業務・資本提携の拡充について

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一、以下「三菱 UFJ 銀行」）と株式会社ジャックス（代表取締役社長 村上 亮、以下「ジャックス」）は、2008年2月25日に公表しました「株式会社ジャックスとの資本提携に関するお知らせ」に記載の提携（以下「旧提携」）に基づき、グループ協働に取り組んでまいりました。一方、金融環境変化や DX 進展など両社を取り巻く経営環境は急激に変化しております。こうした中、これまでの協働成果を踏まえつつ、環境変化に対応するため、三菱 UFJ 銀行及びジャックスは、さらなる提携の強化・深化に向けて旧提携の内容を拡充した新たな資本業務提携（以下「本資本業務提携」）に係る契約（以下「本資本業務提携契約」）を、本日締結いたしました。

本資本業務提携に伴い、三菱 UFJ 銀行はジャックスが実施する第三者割当増資（以下「本第三者割当増資」）により、ジャックスの普通株式 9,980,831 株（2024年9月30日現在の発行済株式総数及び本第三者割当増資による新規発行株式数を合計した 45,059,992 株に対する割合 22.15%、本第三者割当増資前の所有株式数 7,015,969 株とあわせた割合 37.72%）を取得します。本第三者割当増資により、三菱 UFJ 銀行並びに株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 亀澤 宏規、以下「MUFG」）及び三菱 UFJ 銀行をはじめとする MUFG の子会社・関連会社等グループ企業（総称し以下「MUFG グループ」）が自己の計算において保有するジャックスの発行済普通株式に係る議決権の数の合計がジャックスの総議決権数に占める割合は 40.00%となる予定です。また、本資本業務提携を円滑に進めるため、ジャックスの株主総会での承認を条件に、三菱 UFJ 銀行より取締役 2 名をジャックスに派遣することについて合意しております。

1. 本資本業務提携の目的及び理由

MUFG は、「国内リテール顧客基盤の強化」を MUFG グループ成長戦略の 1 つに掲げ、「LTV（Life Time Value：ライフタイムバリュー）×基盤」の最大化を目指しております。また、その実現に向け、①顧客タッチポイントの拡充、②効果的なプロモーション・インセンティブ、③統合的な顧客体験（CX：Customer eXperience）の提供、④データ・AI 活用と顧客最適提案、⑤商品・サービス力強化の 5 つの重点戦略に取り組み、主要グループ一体運営の更なる深化を進めています。

ジャックスは、2026年3月期から『MUFG グループとの連携拡充により「変革」と「再成長」に挑む 3 年間』をテーマとした第 15 次中期経営計画「Do next!」をスタートいたします。同中期経営計画では、「MUFG グループ連携と M&A による成長戦略の加速」を掲げ、住宅関連商品や電気自動車など環境分野、保証分野、海外事業のさらなる成長・拡大を目指しております。なお、ジャックスの第 15 次中期経営計画については、ジャックスが本日公表した「中期経営計画策定に関するお知らせ」をご参照ください。

MUFG、三菱 UFJ 銀行とジャックスは、旧提携に基づき、ジャックスを MUFG グループのコンシューマーファイナンス戦略の一翼を担う中核会社の 1 つと位置付け、2008年3月にジャックスを三菱 UFJ 銀行の持分法適用関連会社とするとともに、グループ協働に取り組んでまいりました。その結果、ジャックスと三菱 UFJ 銀行の共同事業である「ネット DE ローン」における両社の協働は着

実に進展し、ジャックスの「ネット DE ローン」向けの保証残高は 1,000 億円を突破するなど、具体的な成果につながっております。一方、金利ある世界への移行や社会・サービスの DX 化が進むなど両社を取り巻く経営環境は大きく変化しており、こうした環境変化に対応するためには、これまで取り組んできた協働を加速し、グループ一体運営をより力強く推し進めることが必要との認識の下、旧提携の内容を拡充し、資本と業務の両面から提携を強化・深化していくため、本資本業務提携に合意いたしました。

2. 本資本業務提携の内容

(1) 業務提携の内容

三菱 UFJ 銀行とジャックスは、両社及び MUFG グループの有する顧客基盤と金融ソリューション力を相互に提供・活用したグループ協働を一層強化してまいります。

具体的には、これまで共同事業として取り組んできた「ネット DE ローン」のさらなる成長を進めるとともに、ジャックスのクレジット事業における強固な加盟店ネットワークから生じた個人のお客さまの購買ニーズに対し、MUFG グループの安定的な資金調達力も活用しながら円滑な資金供給を図っていく他、以下をはじめとする協業を検討し、グループ一体運営を加速してまいります。

① 成長戦略

- ・ 三菱 UFJ 銀行のみならず MUFG グループの持つ顧客網を最大限活用し、新たな相互送客の枠組みを構築
- ・ 三菱 UFJ 銀行が展開する BaaS へのジャックス商品の追加やジャックスが有する加盟店への BaaS 展開等、新たな分野での協業を模索
- ・ ジャックスにおいて、MUFG グループの有するデジタル金融ネットワークを活用した投資、M&A を拡大
- ・ MUFG グループのグローバルネットワークを活用したジャックスの海外事業における営業・財務基盤の強化、新たな進出及び新規投資を推進

② 効率化・DX 推進

- ・ MUFG グループが持つデジタルを中心とした各種ノウハウの共有によるジャックスのコスト削減、生産性向上の取り組み
- ・ MUFG グループベースでの AI を活用した審査モデルの検討やセキュリティ対策の導入・強化によるジャックスの業務効率化

(2) 資本提携の内容

本資本業務提携を積極的に推進し、実効性を高めるため、三菱 UFJ 銀行は、ジャックスが実施する本第三者割当増資により、ジャックスの普通株式 9,980,831 株（2024 年 9 月 30 日現在の発行済株式総数及び本第三者割当増資による新規発行株式数を合計した発行済株式総数 45,059,992 株に対する割合 22.15%、本第三者割当増資前の所有株式数 7,015,969 株とあわせた割合 37.72%、総額 39,084,934,196 円）を取得する予定です。本第三者割当増資の払込期間は 2025 年 4 月 1 日から 2025 年 6 月 30 日までとしております。なお、国外の競争法に基づく必要な手続きを完了（一定の待機期間の満了を要する場合には、当該期間の満了を含みます。）次第、速やかに払込を行う予定です。

本第三者割当増資の詳細につきましては、ジャックスが本日公表した「資本業務提携契約の締結及び第三者割当による新株式の発行に関するお知らせ」をご参照ください。

(3) 役員のパ遣

三菱UFJ銀行及びジャックスは、本資本業務提携契約において、業務提携の円滑な実行を図るため、三菱UFJ銀行が指名する2名をジャックスの取締役候補者とすることについて合意しております。ジャックスは、2025年6月に開催予定の第94期定時株主総会において、三菱UFJ銀行が指名する2名を取締役候補に含む取締役選任議案を提出する予定です。

3. 当社の概要

(1) 三菱UFJ銀行

① 名称	株式会社三菱UFJ銀行
② 所在地	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
③ 代表者の役職・氏名	取締役頭取執行役員 半沢 淳一
④ 事業内容	金融業及びその他付帯業務
⑤ 資本金	1,711,958 百万円
⑥ 設立年月日	1919年8月15日

(2) ジャックス

① 名称	株式会社ジャックス
② 所在地	東京都渋谷区恵比寿四丁目1番18号 恵比寿ネオナート
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 村上 亮
④ 事業内容	クレジット事業、カード・ペイメント事業、ファイナンス事業、海外事業
⑤ 資本金	16,138 百万円
⑥ 設立年月日	1954年6月29日

4. 本第三者割当増資に伴う三菱UFJ銀行の取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

① 取得前の所有株式数	7,015,969 株
② 取得株式数	9,980,831 株
③ 取得価額	39,084,934,196 円
④ 取得後の所有株式数	16,996,800 株

5. 本資本業務提携の日程

① 本資本業務提携契約の締結日	2025年3月14日
② 本第三者割当増資の払込期間	2025年4月1日から2025年6月30日まで

6. 今後の見通し

本資本業務提携が、MUFG及びジャックスの2025年3月期の連結業績に与える影響は軽微でありませんが、中長期的な企業業績の向上に繋がるものと考えております。また、両社で業務提携の詳細を検討する中で公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以上